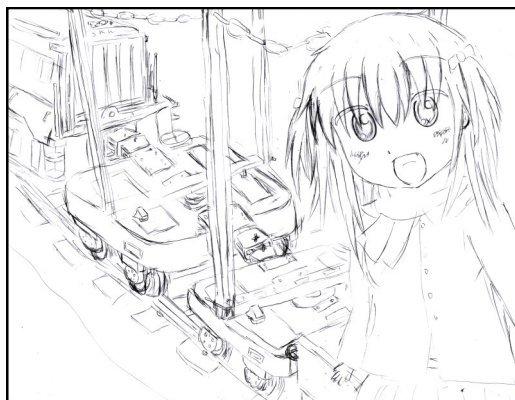


H0e(1/87) 9mmゲージ 3Dプリント 青森型 SA運材台車 4両2組車両セット 車輪別売り



実車について

プロトタイプの車両は、車種名の通り主に青森営林局で使用されていた車両で、東北地方の宮城、山形、青森の青森営林局管内と秋田営林局管内の森林鉄道で活躍していました。大宮富士工業で製造され、全国で同一設計の車両が使用されていたモノコック構造の台車です。メディアや書籍で取り上げられる機会の多いブレーキハンドルの位置が高く、自動空気ブレーキ装備の木曾仕様の車両と比べ、東北仕様のものはブレーキハンドルが低い位置に付いており、自動空気ブレーキの代わりに、機械的に連結器バッファからの衝撃を感知して動作する仕組みの自動ブレーキが装備されていたのが特徴です。

他社製加藤5トン機や青森タイプの酒井5トン機、秋田仕様の加藤5トン機などと合わせて運材列車を再現できます。

今回のモデル化では、寸法及び車体構造は青森森林博物館展示の図面と保存車、細部ディテールは金木歴史民俗資料館と真室川温泉梅里園の保存車を参考にしました。

※印刷精度の考慮と市販品部品を使用する都合上、一部に実車と異なる寸法の箇所やデフォルメしている箇所があります。

パーツ内容、組み立てに別途必要なパーツ、必要な工具

付属品内容

- ステーク（ステーキ、ステー、材木を支えるコの字のパーツ）
- 台車本体

別途走行・組み立てに必要なパーツ

- 3～4mm径車輪（アルモデル製A3052 φ4車輪 推奨）
- φ0.5以上の真鍮線（連結ピン作成用、分離防止ドローパー材料）
- カプラーリンク（モデルワグゲン製朝顔カプラー用リンク・ワールド工芸製品付属品等、リンクを使わずにコの字型の連結ピンで連結する際は不要）
- 艦船模型用アンカーチェーンまたはネックレスチェーン（材木固定チェーンを再現しない場合は不要）
- マタタビの棒（積み荷に使用。葉草屋かペットショップで入手可。）

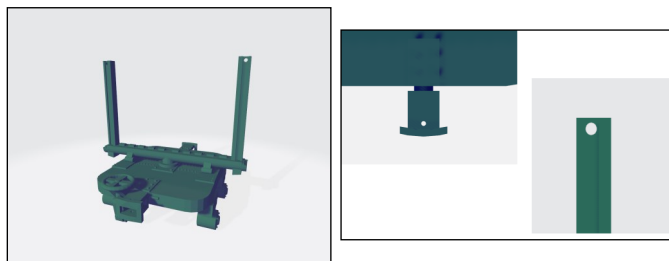
必要な工具

- ニッパー（小型のものが望ましい）
- φ0.5以上のピンバイス（真鍮線の太さと同じもの）
- お好みの色の塗料（実物の写真や資料をご参考ください）
- サンドペーパー（1000番～500番のうちの一枚）

組み立て方法（塗装後の手順です）

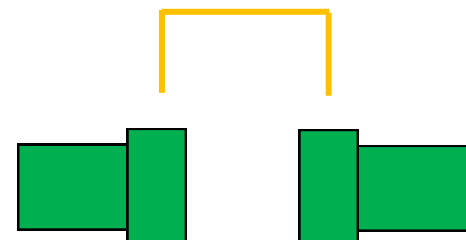
1. まずステークを台車中央の穴に挿し込みます（下左図参照）。印刷制度の都合上、挿し込みづらい・回転しづらい場合があります。その場合は左右に振りながら、回転させながら挿し込みます。それでも固い場合はサンドペーパーで差し込み部分を削って調整してください。
2. カプラーにφ0.5以上（使用する真鍮線に依存）の穴をあけます（下右図参照）。材木固定チェーンも再現する場合はステークにも穴をあけます。※穴が大きすぎたりピンバイスに力を加えると割れやすいので注意してください。φ0.8以下のカプラー穴、ステークはφ0.5以下のチェーン穴か、チェーンを接着剤で接着することを推奨します。
3. 車輪を軸受に取り付けて、回転が渋い場合は模型用油を軸受に注油します。あとはお好みでチェーンやカプラーリンク等の装備品を取り付けてください。

※光硬化樹脂は非常に折れやすいので、組み立てる際は無理な力を入れないようお気を付けください。



連結方法

連結器は各社HOナロー車両標準の朝顔カプラー互換のものを一体成型しています。カプラーにはリンク用の穴もあけていますので、どんぐりカプラーなどの自動連結リンクも使用可能です。木曾森林鉄道などの長野営林局管内では丸太を載せた上で台車間にドローパーとエアブレイキ管を連結していますが、東北地区では丸太を渡して丸太自身で台車間を繋ぐ方式のため、実車にドローパーは存在せず、今回の本セットにも付属していません（下部上側の実車写真参照）。もし模型の走行中に丸太が外れてしまうようであれば、10-20mm程度のコの字に曲げたピアノ線か真鍮線を台車間に取り付けることをお勧めします（下部下側図）。



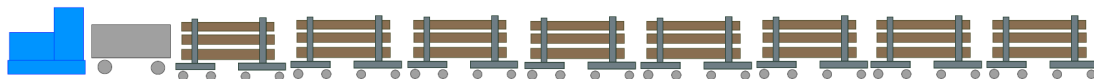
編成例

実車の編成は森林鉄道が産業鉄道である性質上、臨機応変に様々な編成が組成されていましたが、記録映像や写真などで確認できたものを模型で編成を組む際の参考として記載します。

津軽森林鉄道

下図は、金木歴史民俗資料館の保存車の説明板に通常は8組16両連結との記載があり、当時の映像に機関車次位に無蓋車を連結し、人員・資材輸送を行っている様子があることから、これらを反映した編成例です（パッケージイラストもこれをモチーフにしています）。尚、無蓋車は連結していない様子も見られます。また、両数も1組で運行されている様子も映像として残っています。大畑林鉄では客車を最後尾に連結している様子も見られます。

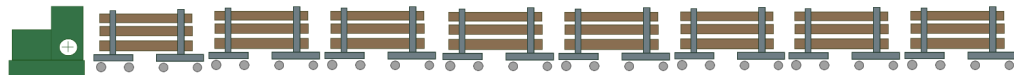
酒井A型5t/協三B型5tDL+無蓋車（各社発売の近似のものを使用してください）+運材台車(本キット)



仁別森林鉄道等

下図の編成は、ある書籍（SNS上の画像のため詳細不明）に掲載されていた仁別林道と思しき写真の編成例です。秋田の林鉄自体が映像や写真資料が少なく、その中の少ないネット上や書籍上で見つけた写真では運材台車の両数が6・8組以上とばらつきがあり、しかも見切れている写真ばかりなので、実際の両数は不明確です。

酒井F型/加藤5tDL（前者はアルモデル社製酒井ボギーDLが近似です。後者はアルモデル社製2021年軽便祭記念キットが出ています）+運材台車(本キット)



創型舎

WebSite : <http://sokeisha.kozow.com>

メンバー

Vicuna twitter : @vicuna1682 - 本キット設計

もんぬ twitter : @MONN_USHARYO

本キットは個人の趣味（同人模型メーカー）で作成したものです。使用した際の損害等は責任を負いかねます。また、お問い合わせや要望は可能な限り対応しますが、十分にお答えできない場合もあります。ご了承ください。